

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号

特表2009-539713

(P2009-539713A)

(43) 公表日 平成21年11月19日(2009.11.19)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
B 6 5 D 85/10 (2006.01)	B 6 5 D 85/10	3 E 0 6 0
B 6 5 D 5/66 (2006.01)	B 6 5 D 5/66 3 O 1 A	3 E 0 6 8

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 20 頁)

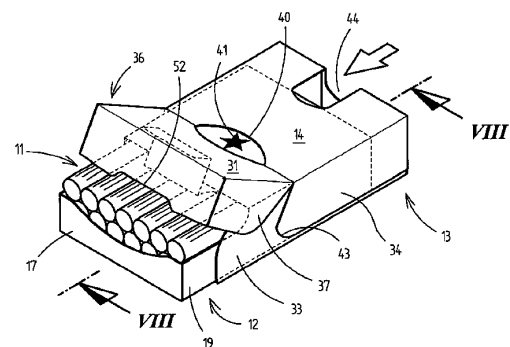
(21) 出願番号 特願2009-514652 (P2009-514652) (86) (22) 出願日 平成19年4月28日 (2007.4.28) (85) 翻訳文提出日 平成21年2月10日 (2009.2.10) (86) 国際出願番号 PCT/EP2007/003783 (87) 国際公開番号 W02007/144043 (87) 国際公開日 平成19年12月21日 (2007.12.21) (31) 優先権主張番号 102006028130.6 (32) 優先日 平成18年6月15日 (2006.6.15) (33) 優先権主張国 ドイツ (DE)	(71) 出願人 504265684 フォッケ・ウント・コンパニー (ゲゼルシャフト・ミト・ベシュレンクテル・ハフツング・ウント・コンパニー・コマンデイトゲゼルシャフト) ドイツ連邦共和国、27283 フェルデン、ジーマンストラッセ、10 (74) 代理人 100069556 弁理士 江崎 光史 (74) 代理人 100093919 弁理士 奥村 義道 (74) 代理人 100111486 弁理士 鍛冶澤 實
---	--

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 シガレットのためのフリップトップパケット

(57) 【要約】

フリップトップパケット型のシガレットパックは、1つのアウトパック(13)と、このアウトパック(13)内で長手方向に移動可能な1つのインナパック(12)から成る。アウトパック(13)の片側に、フリップトップカバー(36)が設けられている。このフリップトップカバーは、インナパック(12)をアウトパック(13)に対して相対的に移動させることにより、しかもパック内に配設されたプッシュタブ(27)による開放力の伝達により開放位置に移動される。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対象物のための、特にシガレットグループ（１１）のための少なくとも１つのフリップトップカバー（３６，５３）と、１つの内部部分もしくはインナパック（１２）と、インナパック（１２）を部分的に取り囲む１つの外部部分もしくはアウトパック（１３）とを有し、アウトパック（１３）内でインナパック（１２）が移動可能であり、インナパック（１２）とアウトパック（１３）が、インナパック（１２）とアウトパック（１３）の相対移動によりフリップトップカバー（３６，５３）を旋回させるための操作機構によって互いに結合されている、パックにおいて、

操作機構、特にプッシュタブ（２７，６２）が、フリップトップカバー（３６，５３）への圧力伝達により、このフリップトップカバーの開放位置への移動を生じさせることを特徴とするパック。

【請求項 2】

フリップトップカバー（３６，５３）が、旋回可能にアウトパック（１３）に設けられ、操作機構、特にプッシュタブ（２７，６２）が、開放位置の方向にアウトパック（１３）内のインナパック（１２）を押して移動させた時に圧力を、これにより旋回運動を、フリップトップカバー（３６，５３）の内側に伝達可能であるように、パック内に、インナパック（１２）とフリップトップカバー（３６，５３）間の結合機構として配設及び形成されていることを特徴とする請求項 1 に記載のパック。

【請求項 3】

圧力を負荷可能なプッシュタブ（２７，６２）が、プッシュタブ（２７，６２）の横方向の線状の変形部、特に線状ジョイント（４６，４７，４８）により、互いに区切られたタブ部分もしくは脚部（４９，５０，５１）から成り、好ましくは、線状ジョイント（４６，４８）が、スラスト力を伝達するために、特に線状ジョイント（４６，４８）を構成するための異なったミシン目によって異なった変形抵抗を備えることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のパック。

【請求項 4】

プッシュタブ（２７，６２）が、特にインナパック（１２）のインナ前壁のフリップトップカバー（３６，５３）側の領域の、インナパック（１２）のブランクの一部であり、プッシュタブ（２７，６２）が、好ましくは、異なった間隔で互いに配設された３つの平行な線状ジョイント（４６，４７，４８）を備え、これら線状ジョイントのうちの、インナ前壁（１４）側の線状ジョイント（４６）が、比較的大きい旋回抵抗で形成されていることを特徴とする請求項 1～3 のいずれか 1 つに記載のパック。

【請求項 5】

プッシュタブ（２７，６２）の外側の終端領域、即ち終端部（４９）が、フリップトップカバー（３６，５３）の内側、特にカバー前壁（３１）もしくはカバー後壁（５７）と、内側の接着等により結合されていることを特徴とする請求項 1～4 のいずれか 1 つに記載のパック。

【請求項 6】

インナパック（１２）が、フリップトップカバー（３６，５３）側の領域に、一方でプッシュタブ（２７，６２）を画成し、他方でシガレット（１０）を取り出すための開口を構成する切欠き（２４，６３，６４）を備えることを特徴とする請求項 1～5 のいずれか 1 つに記載のパック。

【請求項 7】

周縁側もしくは角側のシガレットが露出するように、切欠き（２４）が、インナパック（１２）の側壁の領域もしくは互いにオーバーラップするアウトフラップ（１８）とインナフラップ（１９）の領域にまで延在しすることを特徴とする請求項 6 に記載のパック。

【請求項 8】

フリップトップカバー（３６，５３）が、横方向の線状ジョイント（３９，５５）を介してアウトパック（１３）と結合されており、この線状ジョイント（３９，５５）が、中

10

20

30

40

50

央の領域に貫通した中断部、特に隣接する外壁（３０，５４；３１，５７）の領域の開口（４０，５６）を備えることを特徴とする請求項１～７のいずれか１つに記載のバック。

【請求項９】

アウトバック（１３）が、底側の領域に、インナバックを操作するための、切欠き（４４）、特に底壁（２９）とアウト前壁（３０）の領域内の角部にわたって延在する切欠き（４４）を、備え、この切欠きが、好ましくは切取り可能な材料片（４５）を備えることを特徴とする請求項１～８のいずれか１つに記載のバック。

【請求項１０】

インナバック（１２）が、十分に、即ち前側の領域及び端面の部分幅もしくは部分深さにわたって延在するインナ端壁（１７）の露出領域の切欠き（２４；６３，６４）まで、バックの中身を取り囲むことを特徴とする請求項１～９のいずれか１つに記載のバック。

10

【請求項１１】

アウトバック（１３）が、閉鎖位置でフリップトップカバー（３６，５３）を含めてインナバック（１２）を完全に取り囲むことを特徴とする請求項１～１０のいずれか１つに記載のバック。

【請求項１２】

アウトバック（１３）の向かい合う側に２つのカバー、即ちフリップトップカバー（３６）とインナカバー（５３）が配設されており、フリップトップカバー（３６）がアウト前壁（３０）に設けられ、インナカバー（５３）がアウト後壁に設けられていることを特徴とする請求項１～１１のいずれか１つに記載のバック。

20

【請求項１３】

フリップトップカバー（３６）とインナカバー（５３）が、アウトバック（１３）内のインナバック（１２）を開放位置に移動させることにより、好ましくは各カバー（３６，５３）に付設されたプッシュタブ（２７，６２）によって、ほぼ同時に移動可能であることを特徴とする請求項１２に記載のバック。

【請求項１４】

インナバック（１２）もしくはそのブランクが、特にインナ前壁（１４）もしくはインナ後壁（６５）の部分として、互いに向かい合う２つのプッシュタブ（２７，６２）を備え、プッシュタブ（２７，６２）が、もっぱらインナ前壁（１４）もしくはインナ後壁（６５）の領域の切欠き（６３，６４）によって画成されていることを特徴とする請求項１２に記載のバック。

30

【請求項１５】

インナ前壁（１４）とインナ後壁（６５）が、前側と後側の領域のバックの中身を包囲する材料ウェブ（６８）を構成するように、切欠き（６３，６４）が、それぞれインナバック（１２）の隣接するアウトフラップ（６６）もしくはインナフラップ（６７）の間隔で設けられていることを特徴とする請求項１４に記載のバック。

【請求項１６】

フリップトップカバー（３６）の端壁（３２）及び／又はインナバック（１２）のインナ端壁（１７）が、好ましくはそれぞれの両側にコーナフラップ、即ちカバーコーナフラップ（３８）と端フラップ（２１）を備え、折り畳まれたカバーコーナフラップ（３８）が、バックもしくはフリップトップカバー（３６）の横部分、即ちカバーサイドフラップ（３７）と結合されている及び／又は折り畳まれた端フラップ（２１）が、インナバック（１２）の側壁、即ちアウトフラップ（１８）と結合されていることを特徴とする請求項１～１５のいずれか１つに記載のバック。

40

【請求項１７】

外側のフリップトップカバー（３６）とインナカバー（５３）を有する構成において、インナカバー（５３）のカバー端壁（５９）に対応するカバーコーナフラップ（６０）が、カバーサイドフラップ（５８）と結合され、カバー端壁（５９）の内側に当接し、このカバー端壁と結合されていることを特徴とする請求項１２に記載のバック。

【発明の詳細な説明】

50

【技術分野】

【0001】

本発明は、対象物のための、特にシガレットグループのためのフリップトップカバーと、内部部分もしくはインナパックと、インナパックを部分的に取り囲む外部部分もしくはアウトパックとを有し、アウトパック内でインナパックが移動可能であり、アウトパックとインナパックが、アウトパックとインナパックの相対移動によりフリップトップカバーを旋回させるための操作機構を介して互いに結合されている、パックに関する。

【背景技術】

【0002】

このようなパックは、特許文献1から公知である。パックは、2つの部分パック、即ちスリーブ状のアウトパックとスライダ状のインナパックから成る。フリップトップカバーは、インナパックに配設され、操作タブを介してアウトパックと結合されている。アウトパック内でインナパックを移動させる際、操作タブを介して引張力がカバーに伝達され、これにより、カバーが、開放位置に旋回される。操作タブは、カバーの後壁の領域に配設され、カバーの上の端壁と結合されている。この公知の、フリップトップカバー用の自動開放機構を有するフリップトップカバー式パックは、構造が複雑で、取扱いが面倒である。パックの外観も、不満足である。

10

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

20

【特許文献1】独国特許第12 85 948号明細書

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

本発明の根底にある課題は、工業的に簡単な製造を保証し、ユーザが簡単に取扱い可能で、有利な外観を備える、一方のパック部分を介して操作すべきフリップトップカバーを有するパックを提案することにある。

【課題を解決するための手段】

【0005】

この課題を解決するため、本発明によるパックは、操作機構、特に操作タブが、圧力伝達により、フリップトップカバーの開放位置への移動を生じさせることを特徴とする。

30

【0006】

従って、本発明によるパックの場合、インナパックが、加圧タブを介してアウトパックと結合されている。フリップトップカバーは、操作時、即ちインナパックの移動時に、フリップトップカバーの内側に作用する圧力によって開放位置に移動される。

【0007】

更に、本発明によるパックの場合、フリップトップカバーがアウトパックに設けられていることが重要である。フリップトップカバー用の操作手段である加圧タブは、一方でインナパックと結合され、他方でフリップトップカバーの内側、特にカバー後壁と結合されている。従って、操作機構は、もっぱらパック内に配設され、外から見るできない。更に、外観用のアウトパックにカバーを設けることが有利である。

40

【0008】

操作タブは、圧力を伝達するため、特別なやり方で形成、即ち（線状）ジョイントを介して互いに結合された2つの加圧脚部から成り、これら加圧脚部が、一方でインナパックと結合され、他方で結合部材を介してフリップトップカバーと結合されている。タブの全体は、インナパックのブランクの一部である。

【0009】

特別な発展形によれば、パックは、互いに向かい合う2つのフリップトップカバーを備え、これらフリップトップカバーが、特に一緒に（ほぼ）同時にインナパックにより開放位置に移動可能であるので、シガレットグループは、互いに向かい合う2つの側が自由で

50

ある。

【0010】

別の特徴は、ブランクの形成、即ち計画通りの開閉運動を保証するための措置と取扱いを容易にするための措置である。

【0011】

本発明によるバック及びブランクの実施例を、以下で図面に基づいて詳細に説明する。

【図面の簡単な説明】

【0012】

【図1】 折り畳んでいない展開状態のアウタバック用のブランクを示す。

【図2】 インナバック用のブランクを図1と同様に示す。

【図3】 シガレットグループと仕上がった状態のインナバックを斜視図で示す。

【図4】 インナバックとアウタバックを有する完成状態のバックを斜視図で示す。

【図5】 フリップトップカバーが開放位置にある図4のバックを斜視図で示す。

【図6】 図4の閉鎖状態のバックを、図4の切断面V I - V Iの縦断面図で拡大して示す。

【図7】 開放工程中のバックを図6と同様に示す。

【図8】 フリップトップカバーを開いた場合のバックを図5の縦断面V I I I - V I I Iで図6と同様に示す。

【図9】 バックの他の実施例のインナバック用のブランクを図1と同様に示す。

【図10】 インナバック用のブランクを図9と同様に示す。

【図11】 シガレットグループと図10のブランクから仕上げたインナバックを斜視図で示す。

【図12】 図9と図10のブランクから成る完成状態のバックを斜視図で示す。

【図13】 フリップトップカバーを開放した時の図12のバックを示す。

【図14】 図12のバックを、図12の切断面X I V - X I Vの縦断面図で拡大して示す。

【図15】 開放工程中のバックを図14と同様に示す。

【図16】 開放位置にあるバックを図13の縦断面X V I - X V Iで図13と同様に示す。

【発明を実施するための形態】

【0013】

図面に図示した実施例は、シガレットグループ11として特別に編成したシガレット10のバックニングに関係する。バックは、他の個々のバックの中身のためにも適している。

【0014】

バックは、フリップトップパケットもしくはフリップトップカバー式バックとして形成されている。このバックは、2つのブランクから成り、これらブランクから、一方でインナバック12（図2）が、他方でアウタバック13（図1のブランク）が製造可能である。シガレットグループ11は、インナバック12内に存在する。ブランク（図2）は、インナバック12が標準的なフリップトップパケット用のバックニング機械上で製造可能であるように形成されている。

【0015】

図1～8の実施例では、シガレットグループ11が、インナバック12のブランクによって十分に取り囲まれている（図3）。ブランクは、インナ前壁14、インナ底壁15及びインナ後壁16が、長く延びた（インナ）ブランク内で連続した領域を構成するように構成されている。インナ後壁16にはインナ端壁17が続く。

【0016】

インナ前壁14の両側に、サイドフラップ、即ちアウタフラップ18が配設されている。相応に、インナ後壁16に、内側に位置するサイドフラップ、即ちインナフラップ19が両側に設けられている。インナ底壁15の高さで、サイドフラップもしくはインナフラップ19に底コーナフラップ20が配設されている。コーナフラップ20は、インナパッ

10

20

30

40

50

ク 1 2 を仕上げた時に、好ましくは接着によってインナ底壁 1 5 と結合されている。

【0017】

図 2 の折り畳まれたインナブランクは、互いに向かい合う側壁が、互いにオーバーラップする、特に接着により互いに結合されたアウトフラップ 1 8 とインナフラップ 1 9 によって構成されるインナバック 1 2 を生じさせる。インナバック 1 2 は、本質的にボックス状に形成されており、一方の端面に開口領域を有する。この目的のため、端フラップ 2 1 は、位置をインナ後壁 1 6 に対して横に立たせてある。インナ端壁 1 7 の両側に、このインナ端壁と結合された端フラップ 2 1 が配設されており、これら端フラップは、折り畳んだ状態（図 3）で、アウトフラップ 1 8 の内側に当接し、このアウトフラップと、好ましくは接着により結合されている。インナ端壁 1 7 は、シガレットグループ 1 1 の少なくとも 1 つの前側のシガレット列 2 2 が自由となるように（図 3）、インナバック 1 2 の高さもしくは深さの部分領域だけにわたって延在する。更に、インナ端壁 1 7 は、インナバック 1 2 内のシガレット 1 0 の端部への接近を容易にする凹部 2 3 を備えている。

【0018】

特別なやり方で、アウトフラップ 1 8 を有するインナ前壁 1 4 は形成されている。端面側の領域に、切欠き 2 4 が構成されている。これらきり欠きは、本質的に R をつけたコーナ領域を有する長方形であり、ブランクの自由エッジに向かって開放している。両きり欠き 2 4 は、インナ前壁 1 4 の領域及びそれぞれ隣接するアウトフラップ 1 8 の領域に延在する。これにより、アウトフラップは、アウトフラップ 1 8 の一部であるエンドストリップ 2 5 を構成するが、アウトフラップよりも幅もしくは高さが小さい。これにより、フラップ 1 8, 1 9 によって構成されたインナバック 1 2 の側壁は、端面側の領域に切欠きを備え、この切欠きは、前側に、即ちインナ前壁 1 4 の領域に続く。従って、シガレット 1 0 は、容易に掴むことができる。インナフラップ 1 9 は、端面側が曲線を描いたエッジ 2 6 を有するように形成されており、このエッジによって切欠きが生じる。この切欠きに、インナバック 1 2 を仕上げた時に、対応するように形成された端フラップ 2 1 が入る（図 3）。従って、この領域では、側壁が、同様に 2 層でのみ形成されている。

【0019】

好ましくはインナ前壁（1 4）の中央に、インナブランクは、切欠き 2 4 によって画成された舌状の突出部を備えている。これは、操作機構、即ち特に重要なブッシュタブ 2 7 である。

【0020】

アウトバック 1 3 は、図 1 のアウトブランクから成る。ここでも、ブランクを長く延ばした場合に連続する、アウト後壁 2 8、アウト底壁 2 9、アウト前壁 3 0、カバー前壁 3 1 及びカバー端壁 3 2 用の領域が限定されている。最後に上げたブランクの折畳みフラップ 3 1 及び 3 2 は、アウトバック 1 3 のフリップトップカバー 3 6 を構成する。

【0021】

アウトバック 1 3 の幅が狭く長く延びた側壁を構成するため、アウト後壁 2 8 に内側のサイドフラップ 3 3 が設けられ、アウト前壁 3 0 に外側に位置するサイドフラップ 3 4 が設けられている。内側のサイドフラップ 3 3 の延長部にコーナフラップ 3 5 が存在し、このコーナフラップが、アウトバック 1 3 を仕上げた時に、底壁 2 9 に当接し、この底壁と、好ましくは接着によって結合されている。側壁は、互いにオーバーラップするサイドフラップ 3 3 及び 3 4 によって構成され、これらサイドフラップが、好ましくは同様に互いに結合されている。

【0022】

アウトバック 1 3 の旋回可能なカバーもしくはフリップトップカバー 3 6 を構成するため、カバー前壁 3 1 の横にカバーサイドフラップ 3 7 が設けられている。カバー端壁 3 2 の両側に、カバーコーナフラップ 3 8 が存在する。これらカバーコーナフラップは、カバー端壁 3 2 を立てた時に内側がカバーサイドフラップ 3 7 に当接し、好ましくはこのカバーサイドフラップと接着によって結合されている。従って、フリップトップカバー 3 6 は、前側、端面側及び狭いバック側面にカバーの壁が生じるように形成されている。フリッ

フリップトップカバー 36 の側壁は、相応のカバーサイドフラップ 37 によって大部分が一層に形成されている。

【0023】

フリップトップカバー 36 もしくはカバー前壁 31 は、アウトパック 13 の残りの（パケット）部分と、しかもアウト前壁 30 と、横方向のジョイント、即ち線状ジョイント 39 によって区切られている。この線状ジョイントは、フリップトップカバー 36 の旋回を容易にするため、一方で継続的に保持可能な結合部が得られ、他方で反力の少ない旋回が得られるように形成されている。この目的のため、図 1 のブランクもしくはアウトパック 13 は、線状ジョイント 39 領域に打抜き部を有する。これは、線状ジョイント 39 の両側に向かって延在し、ここでは楕円形に形成された、中央に配設した開口 40 である。この開口は、一方でジョイント 39 の領域の抵抗力を低減する。他方で、フリップトップカバー 36 を開放する際に、凸部がアウト前壁 30 とカバー前壁 31 の領域に生じることを防止する。インナパック 12 は、（パックを閉じた時の）開口 40 の領域に、インナ前壁 14 の情報又は装飾用のプリント 41 を備えている。

【0024】

アウトパック 13 の特別な領域もしくは折畳みフラップは、R を備えている。内側のサイドフラップ 33 のエンドエッジ 42 は、強い R を有するように形成されており、この R は、自由エッジとして、カバーの開放時（図 5）に見える。更に、外側のサイドフラップ 34 は、フリップトップカバー 36 側に R エッジ 43 を備えている。

【0025】

完全な（シガレット）パックは、アウトパック 13 とその中に配設されるインナパック 12 から成る。合目的に、先ずインナパック 12 がパックの中身と共に仕上げられ、その後アウトパック 13 のブランクがインナパック 12 を中心として折り畳まれる。インナパック 12 は、アウトパック 13 内に長手方向に移動可能である。この目的のため、アウト底壁 29 が、インナパック 12 もしくはそのインナ底壁 15 を（手で）操作するために、完全に無くすか、切欠きを備えることができる。ここでは、切欠き 44 がアウトパック 13 に設けられており、この切欠きは、底壁 29 の領域と、これに続いてアウト前壁 30 の領域に延在する。切欠き 44 は、パックを最初に開く時に提供される。この目的のため、材料片 45 が、底壁 29 と前壁 30 の低強度ライン、即ちミシン目ラインによって限定されている（図 1）。タブもしくは材料片 45 は、手で取り除かれる。これにより、切欠き 44 が生じる。この切欠きは、インナパック 12、特にインナ底壁 15 へのスラスト力の伝達を可能にする。

【0026】

フリップトップカバー 36 の方向にインナパック 12 を移動させることにより、このフリップトップカバーが自動的に開かれ、しかも内側のプッシュ機構によって行なわれる。これは、プッシュタブ 27 である。プッシュタブは、相対移動によりフリップトップカバーが開放位置（図 5）に旋回されるように、配設及び形成されている。

【0027】

フリップトップカバー 36 へのスラスト力の伝達は、特にプッシュタブ 27 の屈曲ラインの特別な配設及び形成によって保証されている。プッシュタブは、平行な横方向の 3 つの線状ジョイント 46, 47, 48 を備える。前記ジョイント 46, 48 は、材料低強度部、即ち材料型押し部及び／又は型抜き部によって限定されている。これらは、プッシュタブ 27 の複数の部分を限定する。終端部 49 は、フリップトップカバー 36 の内側、しかもカバーの前壁 31 と、合目的に接着により結合されている。製造時、接着剤は、カバー前壁 31 の対応領域及び／又は終端部 49 に塗布されるので、パックの仕上げ時（図 6）に結合が行なわれる。

【0028】

終端部 49 に続く長手方向の寸法が大きい脚部 50 は、スラスト力をカバー 36 に伝達する。閉鎖位置からカバー 36 を確実に持ち上げるため、線状ジョイント 47 は、短い周縁脚部 51 を画成する線状ジョイント 46 よりも低強度に形成されている。線状ジョイン

ト４６及び４７を異なるように形成することにより、即ち線状ジョイント４７を低強度にすることにより、大きい脚部５０がフリップトップカバー３６に対する開放運動の導入時に確実に立たされ、開放力を伝達することが、保証されている。線状ジョイント４６及び４７の領域の異なった抵抗力は、型抜き部の数もしくは残りの材料の結合部の長さによって生じる。線状ジョイント４６は、多くのもしくは長い残りの結合部を有する。

【００２９】

更に、開放工程の進捗にとって、プッシュタブ２７が、フリップトップカバー３６の線状ジョイント３９に対する所定の相対位置に位置決めされていることが、重要である。特に、図６に示したように線状ジョイント３９と第１もしくは隣接するプッシュタブ２７の線状ジョイント４６の間にフリップトップカバー３６の方向に適当な間隔を与えることが、重要である。

10

【００３０】

パックの閉鎖時（図８）、圧力がパックの端面に、即ちインナパック１２の端壁１７に加えられる。インナパックは、底壁１５及び２９が隣接する図６の初期位置に押し戻される。この戻し移動時に、引張力がカバー３６に加えられる。プッシュタブ２７は、次第に延びた姿勢に戻る。これが、フリップトップカバー３６の閉鎖運動を生じさせる。カバー端壁３２は、中央領域に凹部５２を備えており、この凹部は、フリップトップカバー３６の閉鎖運動の最終段階でも、インナパック１２の端壁１７への圧力の伝達を可能にする。

【００３１】

フリップトップカバー式パックの発展形及び変形が、図９～図１６に示されている。これらの選択肢は、同様にインナパック１２とアウトパック１３を備えている。後者は、前記実施例のフリップトップカバーと同様のフリップトップカバー３６を備える。別のフリップトップカバー、即ちインナカバー５３が、フリップトップカバー３６に隣接するもしくは向かい合うようにアウトパック１３に、しかもパック背面に設けられている。寸法及び形状に関して、フリップトップカバー３６、５３は、背面側のインナカバー５３がパックの閉鎖時に部分領域を（大きい）フリップトップカバー３６によって取り囲まれる（図１２）ように、互いに調整されている。

20

【００３２】

２つのフリップトップカバー３６、５３を有する構成は、相応のブランクの形成を条件とする。図９のアウトブランクは、（長手方向の広がりに対する）中央領域に、パックの（下の）ポケット部分用の折畳みフラップを備え、両末端領域に、一方ではフリップトップカバー３６用の、他方ではフリップトップカバー５３用の折畳みフラップを備える。アウト前壁３０、これに続くアウト底壁２９及びフリップトップカバー３６の折畳みフラップ３１、３２は、図１の実施例と同様に形成されている。アウトパック１３の背面は、アウト後壁５４から成り、このアウト後壁に、折畳みフラップもしくはインナカバー５３が、横方向の折畳み線、即ち線状ジョイント５５を介して続く。前記の理由から、この線状ジョイント５５の領域に、開口５６が、開口４０に応じて設けられている。後壁５４と結合されたカバー後壁５７は、両側にカバーサイドフラップ５８を備え、これらカバーサイドフラップは、ほぼ台形に、即ちカバー端壁５９の方向に収束するように形成されている。カバーサイドフラップ５８の延長部には、カバーコーナフラップ６０が配設され、このカバーコーナフラップが、パックの仕上げ時に、カバー端壁５９に当接し、このカバー端壁と、好ましくは接着により結合されている。従って、背面側のインナカバー５３は、シガレットグループ１１用のトレイ状の部分パックとして形成されている（図１３）。パックを閉じた時に外側に位置するフリップトップカバー３６は、図１の実施例と同様に、即ちカバー端壁３２の両側に設けられたカバーコーナフラップ３８を有するように形成されている。

30

40

【００３３】

特別な形成が、図９によれば、アウトパック１３の（外側の）サイドフラップ３４のために設けられている。サイドフラップ３４のフリップトップカバー３６側のエンドエッジ６１は、一貫して、特に円状もしくは部分円状にＲ付けされている。ブランクの長手方向

50

に続くカバーサイドフラップ 37 は、相応の型押しラインによって分離されて、弧状にコーナエッジ 61 の輪郭に適合されている。互いに向かい合う折畳みフラップ 34 及び 37 のエッジは、フリップトップカバー 36 の旋回運動にとって有利である（図 12 / 図 13）。

【0034】

特別なやり方で、この構成のインナパック 12 用のブランクは形成されている（図 10）。各カバーの操作のため、即ちフリップトップカバー 36 の操作とほぼ同時のインナカバー 53 の操作のため、インナブランクに設けられた、開放運動時にフリップトップカバー 36、53 に圧力を伝達するための機構が役立つ。各フリップトップカバーには、プッシュタブが、即ち前側のフリップトップカバー 36 には既に説明したプッシュタブ 27 が、インナカバー 53 には向かい合う対応するように形成されたプッシュタブ 62 が、付設されている。両プッシュタブ 27、62 は、図 2 と関係して説明したやり方で形成されている。フリップトップカバー 36、53 の開閉時の運動の進行も一致している（図 14 ~ 図 16）。

【0035】

異なった形成は、プッシュタブの両側に配設された、ここでは一致するように形成された切欠き 63、64 にも当て嵌まる。これら切欠きは、長方形のタブ 27、62 を画成する。切欠き 63、64 は、もっぱらインナ前壁 14 と、これと一致するように形成されたインナ後壁 65 の領域に存在する。一方では前壁 14 に、他方では後壁 65 に、隣接するアウトフラップ 66 とインナフラップ 67 は、パック全長にわたって完全な幅で延在する。前壁 14 と後壁 65 の領域で、切欠き 63、64 は、それぞれ材料ウェブ 68 が前壁 14 と後壁 65 の領域に限定されるように、それぞれフラップ 66、67 を画成するための折畳みエッジに対して間隔を置いて配設されている。ここではブランクの自由縁に向かって狭くなるこれら材料ウェブ 68 は、フリップトップカバー 36、53 の開放時のパック内でのシガレット 10 もしくはシガレットグループ 11 の固定を改善する（図 13）。縁側もしくはコーナ側のシガレットは、開放領域では、インナパック 12 の端壁、即ち互いにオーバーラップするフラップ 66、67 によって固定され、隣接する全面及び背面の領域では材料ウェブ 68 によって固定される。

【0036】

インナパック 12 用のブランクは、前の実施例と同様に、前壁 14 及び後壁 65 の領域にプリント 41、しかも 2 つのプリントを備えており、これらは、両最終位置、即ち閉鎖位置及び開放位置でプリント 41 が開口 40、56 の領域内に外から見られるように、それぞれ開口 40 もしくは 56 に対して相対的に変位させて位置決めされている。

【0037】

別の形成の特徴に関して、両実施例は、一致するもしくは同様に形成されている。インナパック 12 とアウトパック 13 用のブランクは、好ましくは同じ材料、特にフリップトップパケットに対して通常のボール紙から成る。両構成は、標準的なフリップトップパケット用のパッキング機械で、しかも連続する作業ステップで仕上げることができる。

【0038】

前記のパックもしくはフリップトップパケットの別の特徴は、パックの中身が、インナパック 12 によって十分に包囲されること、即ち保護されることに、見られる。カバーを若干開いた時でも、パックの中身が覆われている。更に、プッシュタブ 27、62 の構造及び配設に基づいて、押圧タブの部分の連続した屈曲によってフリップトップカバー 36、53 を、先ず比較的大きな荷重で開放し、その後迅速な運動で開放することが、保証されている。

【符号の説明】

【0039】

- 10 シガレット
- 11 シガレットグループ
- 12 インナパック

10

20

30

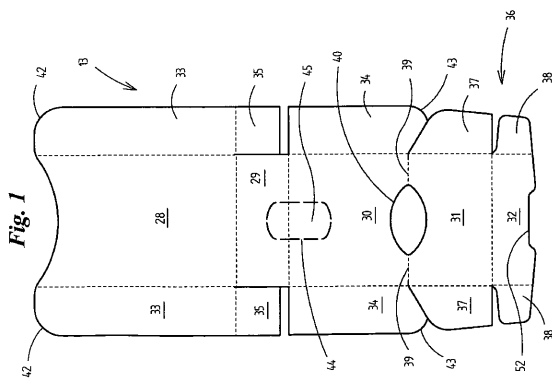
40

50

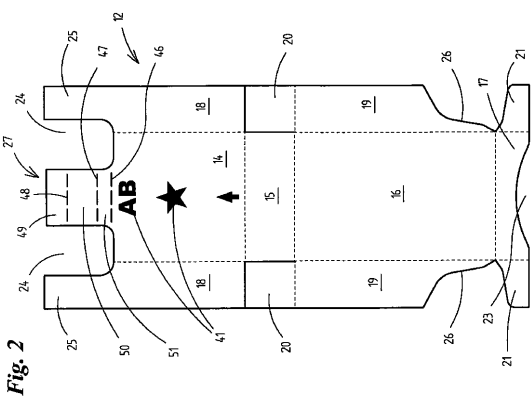
1 3	アウトバック	
1 4	インナ前壁	
1 5	インナ底壁	
1 6	インナ後壁	
1 7	インナ端壁	
1 8	アウトフラップ	
1 9	インナフラップ	
2 0	底コーナフラップ	
2 1	端フラップ	
2 2	シガレット列	10
2 3	凹部	
2 4	切欠き	
2 5	エンドストリップ	
2 6	エッジ	
2 7	プッシュタブ	
2 8	アウト後壁	
2 9	アウト底壁	
3 0	アウト前壁	
3 1	カバー前壁	
3 2	カバー端壁	20
3 3	サイドフラップ (インナ)	
3 4	サイドフラップ (アウト)	
3 5	コーナフラップ	
3 6	フリップトップカバー	
3 7	カバーサイドフラップ	
3 8	カバーコーナフラップ	
3 9	線状ジョイント	
4 0	開口	
4 1	プリント	
4 2	エンドエッジ	30
4 3	Rエッジ	
4 4	切欠き	
4 5	材料片	
4 6	線状ジョイント	
4 7	線状ジョイント	
4 8	線状ジョイント	
4 9	終端部	
5 0	脚部	
5 1	周縁脚部	
5 2	凹部	40
5 3	インナカバー	
5 4	アウト後壁	
5 5	線状ジョイント	
5 6	開口	
5 7	カバー後壁	
5 8	カバーサイドフラップ	
5 9	カバー端壁	
6 0	カバーコーナフラップ	
6 1	エンドエッジ	
6 2	プッシュタブ	50

- 6 3 切欠き
- 6 4 切欠き
- 6 5 インナ後壁
- 6 6 アウタフラップ
- 6 7 インナフラップ
- 6 8 材料ウェブ

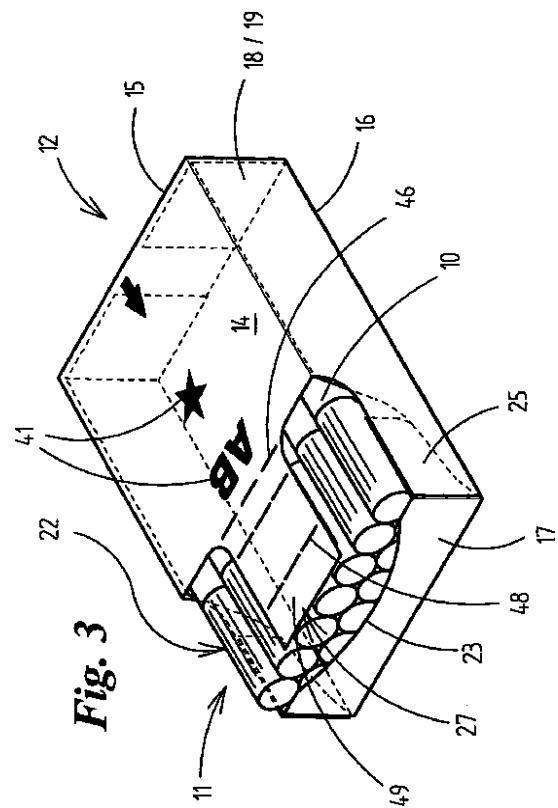
【図 1】



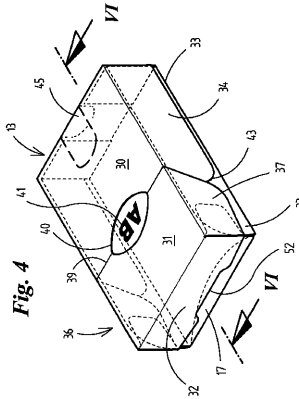
【図 2】



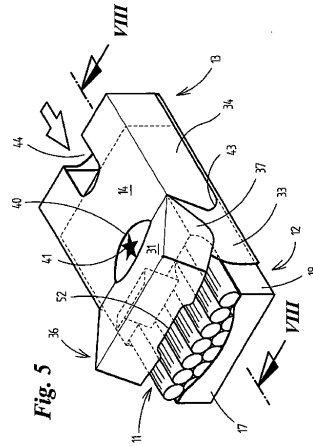
【図 3】



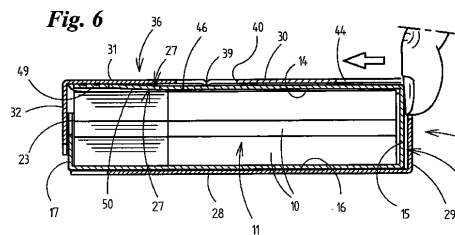
【図 4】



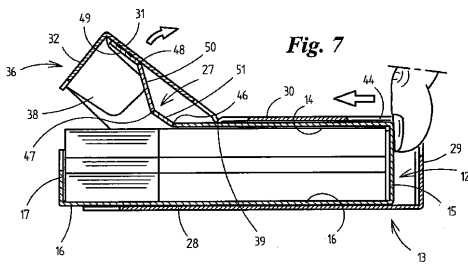
【図 5】



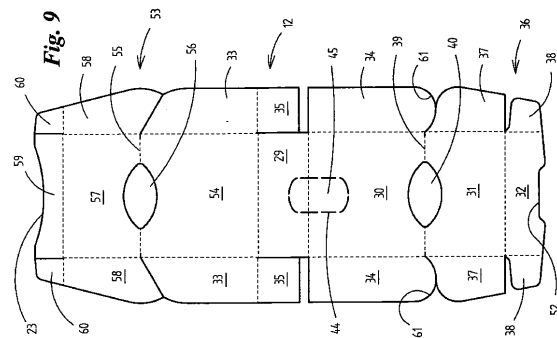
【図 6】



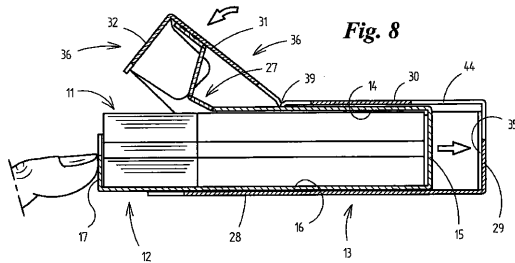
【図 7】



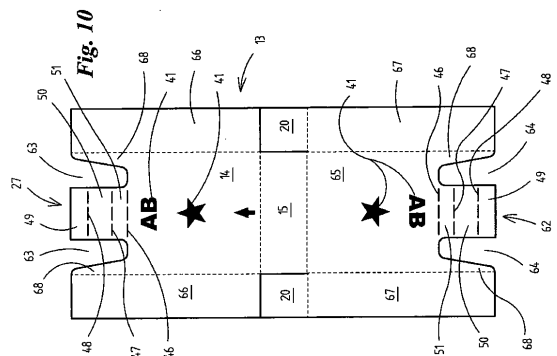
【図 9】



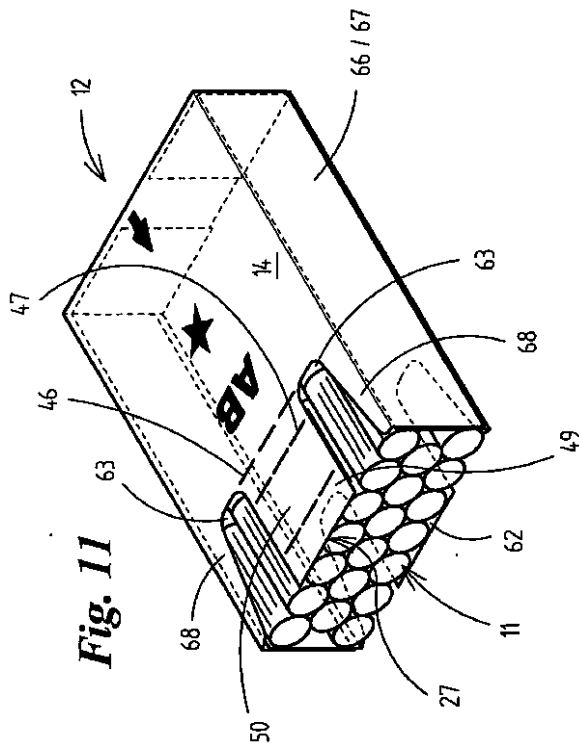
【図 8】



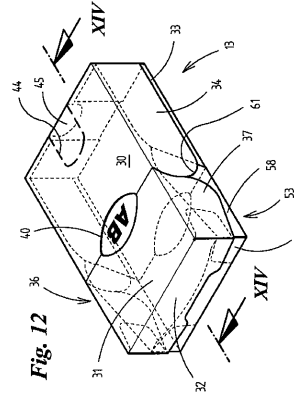
【図 10】



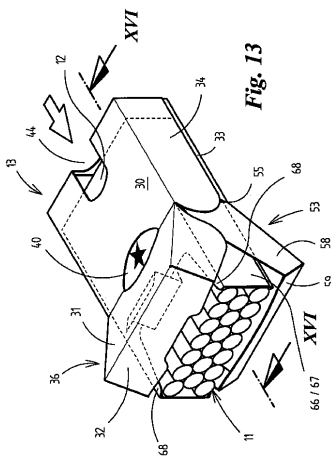
【図 1 1】



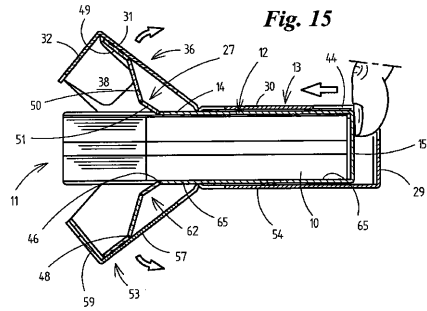
【図 1 2】



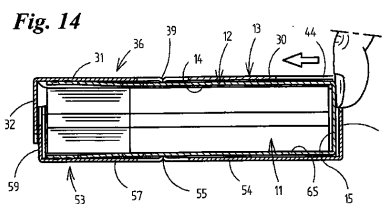
【図 1 3】



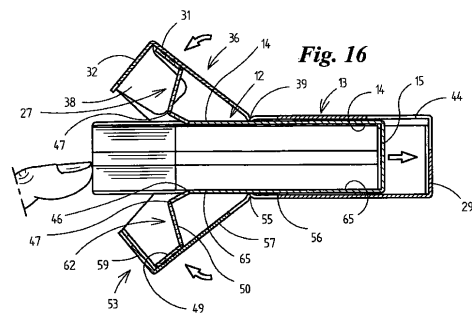
【図 1 5】



【図 1 4】



【図 1 6】



【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No
PCT/EP2007/003783

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
INV. B65D5/66

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
B65D

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Electronic data base consulted during the International search (name of data base and, where practical, search terms used)

EPO-Internal

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	CH 598 061 A5 (KLAUSFELDER ALBERT; GRANDJEAN DANIEL) 28 April 1978 (1978-04-28)	1,2,5-8, 10,11,16
Y	column 1, line 41 - column 2, line 25	9,12-15, 17
A	figures 1-3	3,4
Y	CH 406 968 A (ARTIGAS JOSE [CH]) 31 January 1966 (1966-01-31) page 1, line 32 - page 2, line 11 figures 1-7	12-15,17
Y	US 439 993 A (M. N. BAILEY) 4 November 1890 (1890-11-04) page 1, line 34 - page 3, line 7 figures 1-11	9
	----- -/--	

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☒ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

- *A* document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
- *E* earlier document but published on or after the international filing date
- *L* document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
- *O* document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
- *P* document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

- *T* later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
- *X* document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
- *Y* document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art.
- *&* document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

10 August 2007

Date of mailing of the international search report

27/08/2007

Name and mailing address of the ISA/
European Patent Office, P.B. 5818 Patentlaan 2
NL - 2280 HV Rijswijk
Tel. (+31-70) 340-2040, Tx. 31 651 epo nl,
Fax: (+31-70) 340-3016

Authorized officer

RODRIGUEZ GOMBAU, F

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No
PCT/EP2007/003783

C(Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	DE 12 85 948 B (SHIMADA KATSUJI) 19 December 1968 (1968-12-19) column 3, line 56 - column 5, line 12 figures 1-5 -----	1

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International application No

PCT/EP2007/003783

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
CH 598061	A5	28-04-1978	BE 864232 A1 16-06-1978 FR 2383839 A1 13-10-1978 JP 53146884 A 21-12-1978
CH 406968	A	31-01-1966	NONE
US 439993	A		NONE
DE 1285948	B	19-12-1968	NONE

INTERNATIONALER RECHERCHENBERICHT

		Internationales Aktenzeichen PCT/EP2007/003783
A. KLASSIFIZIERUNG DES ANMELDUNGSGEGENSTANDES INV. B65D5/66		
Nach der Internationalen Patentklassifikation (IPC) oder nach der nationalen Klassifikation und der IPC		
B. RECHERCHIERTE GEBIETE		
Recherchierte Mindestprüfstoff (Klassifikationssystem und Klassifikationssymbole) B65D		
Recherchierte, aber nicht zum Mindestprüfstoff gehörende Veröffentlichungen, soweit diese unter die recherchierten Gebiete fallen		
Während der Internationalen Recherche konsultierte elektronische Datenbank (Name der Datenbank und evtl. verwendete Suchbegriffe) EPO-Internal		
C. ALS WESENTLICH ANGESEHENE UNTERLAGEN		
Kategorie*	Bezeichnung der Veröffentlichung, soweit erforderlich unter Angabe der in Betracht kommenden Teile	Betr. Anspruch Nr.
X	CH 598 061 A5 (KLAUSFELDER ALBERT; GRANDJEAN DANIEL) 28. April 1978 (1978-04-28)	1,2,5-8, 10,11,16
Y	Spalte 1, Zeile 41 - Spalte 2, Zeile 25	9,12-15, 17
A	Abbildungen 1-3	3,4
Y	CH 406 968 A (ARTIGAS JOSE [CH]) 31. Januar 1966 (1966-01-31) Seite 1, Zeile 32 - Seite 2, Zeile 11 Abbildungen 1-7	12-15,17
Y	US 439 993 A (M. N. BAILEY) 4. November 1890 (1890-11-04) Seite 1, Zeile 34 - Seite 3, Zeile 7 Abbildungen 1-11	9
-/--		
☒ Weitere Veröffentlichungen sind der Fortsetzung von Feld C zu entnehmen ☒ Siehe Anhang Patentfamilie		
* Besondere Kategorien von angegebenen Veröffentlichungen : *A* Veröffentlichung, die den allgemeinen Stand der Technik definiert, aber nicht als besonders bedeutsam anzusehen ist *E* älteres Dokument, das jedoch erst am oder nach dem internationalen Anmeldedatum veröffentlicht worden ist *L* Veröffentlichung, die geeignet ist, einen Prioritätsanspruch zweifelhaft erscheinen zu lassen, oder durch die das Veröffentlichungsdatum einer anderen im Recherchenbericht genannten Veröffentlichung belegt werden soll oder die aus einem anderen besonderen Grund angegeben ist (wie ausgeführt) *O* Veröffentlichung, die sich auf eine mündliche Offenbarung, eine Benutzung, eine Ausstellung oder andere Maßnahmen bezieht *P* Veröffentlichung, die vor dem internationalen Anmeldedatum, aber nach dem beanspruchten Prioritätsdatum veröffentlicht worden ist *T* Spätere Veröffentlichung, die nach dem internationalen Anmeldedatum oder dem Prioritätsdatum veröffentlicht worden ist und mit der Anmeldung nicht kollidiert, sondern nur zum Verständnis des der Erfindung zugrundeliegenden Prinzips oder der ihr zugrundeliegenden Theorie angegeben ist *X* Veröffentlichung von besonderer Bedeutung; die beanspruchte Erfindung kann allein aufgrund dieser Veröffentlichung, nicht als neu oder auf erfinderischer Tätigkeit beruhend betrachtet werden *Y* Veröffentlichung von besonderer Bedeutung; die beanspruchte Erfindung kann nicht als auf erfinderischer Tätigkeit beruhend betrachtet werden, wenn die Veröffentlichung mit einer oder mehreren anderen Veröffentlichungen dieser Kategorie in Verbindung gebracht wird und diese Verbindung für einen Fachmann naheliegend ist *Z* Veröffentlichung, die Mitglied derselben Patentfamilie ist		
Datum des Abschlusses der internationalen Recherche 10. August 2007		Absenddatum des internationalen Recherchenberichts 27/08/2007
Name und Postanschrift der Internationalen Recherchenbehörde Europäisches Patentamt, P.B. 5818 Patentlaan 2 NL - 2280 HV Rijswijk Tel. (+31-70) 340-2040, Tx. 31 851 epo nl, Fax: (+31-70) 340-3016		Bevollmächtigter Bediensteter RODRIGUEZ GOMBAU, F

INTERNATIONALER RECHERCHENBERICHT

Internationales Aktenzeichen
PCT/EP2007/003783

C. (Fortsetzung) ALS WESENTLICH ANGESEHENE UNTERLAGEN		
Kategorie*	Bezeichnung der Veröffentlichung, soweit erforderlich unter Angabe der in Betracht kommenden Teile	Betr. Anspruch Nr.
A	DE 12 85 948 B (SHIMADA KATSUJI) 19. Dezember 1968 (1968-12-19) Spalte 3, Zeile 56 - Spalte 5, Zeile 12 Abbildungen 1-5 -----	1

INTERNATIONALER RECHERCHENBERICHT

Angaben zu Veröffentlichungen, die zur selben Patentfamilie gehören

Internationales Aktenzeichen

PCT/EP2007/003783

Im Recherchenbericht angeführtes Patentdokument	Datum der Veröffentlichung	Mitglied(er) der Patentfamilie	Datum der Veröffentlichung
CH 598061	A5	28-04-1978	BE 864232 A1 16-06-1978 FR 2383839 A1 13-10-1978 JP 53146884 A 21-12-1978
CH 406968	A	31-01-1966	KEINE
US 439993	A		KEINE
DE 1285948	B	19-12-1968	KEINE

フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), EP(AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MT, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RS, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, SV, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW

(72)発明者 ハイン・ヴィクトル

ドイツ連邦共和国、 2 7 3 0 8 ルットウム、ビュルガーマイスターーホグレフェーストラーセ、
1 2

(72)発明者 ブーゼ・ヘンリー

ドイツ連邦共和国、 2 7 3 7 4 ヴィッセルヘーヴェデ、ドレッセル・ヌンマー、 8

Fターム(参考) 3E060 AA03 AB32 BA12 BA24 BB01 BC02 CE04 CE07 CE12 CE18
CE19 DA04 DA25 EA08 EA20
3E068 AA21 AB02 AC02 BB02 CC03 CD01 CE02 DD01 DD02 DD08
DE13 EE32 EE37